夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢 郵稅 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話三二二五番・三三〇〇番
發行人 十河柴忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

最近の滿洲
中央銀行に就て
山成副總裁の放送（下）

元來一戸當り十町歩以上といふ相當潤澤なる耕地面積を有する勤勉力行の滿洲農民にして農業資金を得、而も治安維持を見るに至つたので今後の農業上の發展期して俟つべきものがあらうと思はれる、次に昨年北滿地方で馬占山一黨の暴虐を逞ふしたる際馬大洋二百萬圓を發行し約百六十萬圓流通せるが固より準備なき濫發紙幣の事とて、地方民の迷惑一方ならざりしが、本行は馬大洋四圓を以て國幣一圓と引換へ約一ケ月にして殆ど全部を引換へ地方民を勞害より開放した、更に最近の熱河討伐につきては周知の如く疾風迅雷的に神技とも謂ふべきものにして而も軍の通過後早速經濟工作が行はれ、銀行が逸早く開店せる有樣を見て、同地方を弊察せる「デーリーメール」紙プライス氏もナポレオン戰爭以來例なき事實なりとて激賞したのである

×

元來熱河には熱河興業銀行なるものがあり、同省內にて紙幣を發行せるが、濫發の結果價値暴落し、七八十分ノ一となり、事變のため閉店したるが其後始末につき軍當局、政府及本行間の協議の結果一ケ月を限り熱河票五十圓に對し國幣一圓を以て引換する事とし、目下三十余名の本行員の手により承德、赤峰、凌源、平泉、朝陽等に於て引換へ中である

×

鐵道少く、而も山嶽多き熱河の地に於て、神速なる策戰に伴ふて政治工作宣傳等の行届きたるは眞に驚嘆すべきものあり、而して滿洲財政部は固より軍と聯絡し、其の幹部は卒先熱河を視察し銀行をして熱河進出の機會を與へられたのである

×

又軍は銀行員の輸送及紙幣の現送に對し軍事上極めて貴重なる飛行機の便を與へ或はトラツクの便乘を許さるる等あらゆる便宜を供せられ、銀行の活動に至大の便宜を得たのである、本行は各方面の此好意に對し深謝を捧げる次第である

熱河の平定是即ち全滿洲國の平定で眞に歷史的大事業である、之より國家の諸般の施設は愈々本格的となり本行の通貨統一事業も之により始めて完成する次第で、本行は今後國內の安定により一面本來の使命たる產業開發に助力し得らるるに至りしを喜び一層の奮鬪を期して居るのであつて熱河に對しては本行よりも榮厚總裁、鷲尾理事其の他幹部兩名一行昨日飛行機にて出發したのである

×

次に銀行內部の事項に就て開業の際引繼ぎを受けたる舊銀行の支店は漸次廢合整理し同時に必要の地方には支店を新設普及せしむる方針として本月十五日を以て一先づ廢台整理を完了する筈である、尙本行附屬業務は本年六月迄に分離する事になつて、居る其の多くば滿洲國經濟上必要のものにて本行は此の地方的機關を尊重し、愼重に其の經營監督に當り其の結果夫々方針も決定せるを以て漸次之が分離獨立の準備中である。

×

終りに昨年十一月滿洲國建國公債募集の爲め財政部星野總務司長と共に港日したる際は日本朝野の御聲援により成功を見たるが、滿洲國財政狀態は當時に比し益々良好にして例へば歳入につきても昨年七月より本年六月に至る大同元年度の豫算額六千九百五十萬圓の內本年二月迄八ケ月間の收入が五千六百萬圓にして、其の內租稅は八千四百萬圓の豫算に對し、五千三百萬圓を收入し、今後租稅收入は豫算額を超過する見込みである、其他官業收入等も順調にして來る六月年度末迄には歳入の豫算收入は確實なのである、如此當局の努力により滿洲國財政基礎は益々健實を加へつつあることを爰に御報告申上ぐる次第であります

關東州附屬地の
阿片收買辦法を設定せん

本年三月滿洲國政府が阿片專賣制を施行して以來各地方の阿片小賣商は非常な成績を擧げつつあり、新京に於ける小賣業者の賣上げも一戸當り每日二百元といふ豪勢さを示してゐるが阿片收買制に至つては附屬地關東州內の阿片收買を爲し得ざる爲め完全な收買の實を擧げ難い憾みあり日本側としても不正業者絕滅のため滿洲國の阿片收買制の完全にその實を擧ぐることを期待してゐるので、近く當局では何等かの形式で關東州附屬地內の阿片をも收買し得る臨時辦法を設くることとなり目下種々考究中でこれが爲め附屬地關東州內にひそむ密輸業者は大恐慌を來しつつあるが、日滿當局ではこの際從來の惡弊を一掃すべく固い決意を示してゐる

熱河省事情〔卌〕

N 石灰岩

偏大溝平泉の西北百七十二支里

因に林西の正北百支里の附近には大理石を產する

O 鑛泉

建昌熱水塘建昌の北三十五支里、北、東、西の三面は山岳を以て限られ（多くは玄武岩火山岩及火山層及火山玻璃から成る）南の一方のみ多少平坦である、湧出口は十二箇所、何れも弱アルカリ泉で無色透明、溫度は攝氏四十四五度、浴槽の設備がある

建平熱水塘建平の東南約六十支里、東南方は黃土の平原に連り北西は花崗岩からなる山嶺があり湧出口は一箇所、湧出量一分間二、三立方尺、泉質弱アルカリ性無色透明、溫度四十七度乃至五十度、浴槽の設備がある

熱水塘新舖の東北二十支里二道溝の北西二十支里の地點にある、溫度高く卵を投込めば直ぐ煮へるといふ、浴槽の設備はない

P 石油

九佛堂喀喇沁左翼旗公營子の北約二十支里、建昌の南約七十五支里地點に當る三臺の南方約八支里の地にあつて、石油の露頭は九佛堂部落（人口約三百）の東方約三支里にある

此の附近一帶は古生層石灰岩の凹地上に沈積した中世紀層の砂質頁岩から成り、表面は黃土を以て覆はれ、唯、溪谷に於てその露出を見るだけである、而して溪谷中に露出せるものは約二百間ばかりであるが、層の廣袤は南北約十五支里、東北約十支里以上あつて東、南、北の三方は古生層の岩層に終り、西方は大凌河下に沒する古生層に終つてゐる

九佛堂附近の住民は數百年來この頁岩を自由に採掘して燃料に使用して來たとの事であるが、近年採掘を禁ぜられたとの事で、一斤の鑛石から約十六匁の石油を製出する事が出來ると言はれてゐる

以上の頁岩だけを石油の原鑛として處理するには有望であると斷言する事は出來ないが、この頁岩は、恐らく石油の露頭であつて地下に埋藏する石油の存在を示してゐるものとやうである

東北年鑑所載の分析表は左の通りである

原油	九%
水	一%
渣滓	八三%
遺失氣體	七%

以上は熱河省內に於ける鑛產地の概要であるが、大正三年の東部內蒙古（主として熱河地方）調查報告は資料としては稍や古き嫌は免れないが、熱河省の鑛業に關する一般の結論としては大に見るべき價値あるものと認められるから左にその全文を拉し來り、附して參考の資とした

工業原鹽の
大量日本輸出

滿洲國財政部では渤海沿岸の鹽業振興策として工業原鹽の大量日本輸出を計劃、現行の輸出課稅一ピクル國幣六圓三十錢を四十錢に引下げ年額一億斤の原鹽を輸出することとなり、近く來滿する專賣局員と協議の上正式決定する筈である

日銀週

【東京十一日發國通】

發行兌換券高	一、〇九九、七六四
正貨準備	四二五、〇六八
保證內譯	
公債	三七九、二一三
政府證券	二三一、〇〇〇
證券	五四、六六七
手形	二二一、一八四

七年度末 國債總額
七十億圓臺突破

【東京十一日發國通】大藏當局發表の七年度末（三月末）現在の國債總額は七十億五千四百十九萬圓で七十億圓臺を突破し六年度より八億六千萬圓の激增を見その內譯次の如し

內國債（單位千圓）	五、六三三、七三三
外國債	一、三九〇、四四一
大藏證券	一〇〇、〇〇〇
米穀證券	三三、三五四

蘇聯のダンピングと 撫順オイルの進出に
米石油會社苦惱

【奉天十一日發國通】滿洲に於けるソヴイエート石油のダンピングに脅威された、スタンダード、テキサス、アジアの三石油會社は昨年末該ガソリンが市場に出現するに及び、而も品質の優秀、價格の低廉なる點に於て將來外國品を壓倒するに至るべく前記三社もソヴイエートと販賣協定を結んで之に對抗せんとしたが、ソヴイエート石油の底知れぬ亂賣に壓倒されつつあつた矢先き最近撫順オイルシエール石油よりの撫順ガソリンの出現を重大視し、過般來秘かにオイルシエール工場に於けるガソリン生產能力、將來の工場擴張計畫の有無につき調查を始めした、而して右の調查は三社の營業上に於ける影響が意外にも軍事的關係あるものと傳へられる

林總裁歸任

【東京十一日發國通】林總裁は午後一時東京驛發歸任した

中銀の新築 月末ごろ起工
豫算五十萬圓を投じ

滿洲國中央銀行新廳舍は城內北大街永衡官銀號跡に五十萬圓を投じ本月末より着工することとなつた

怪人凱歌（くわいじんがいか）

（舞台上演・映畫化）須藤鐘一　（畫）瀧秋方

（百九十二）

勝敗（三）

櫻の花がトンネルのやうになつた小川の土手を、しづかに摘み草しながら、上手へ歩いて行く女づれの中に、一際目立つて美しい女がゐた。それは評判の美人女工皆沼お晉代であつた。

こちらで男達が醉つ拂つて唄ふ、踊る、跳ねる、喚く、叫ぶの大騷痴氣を演出しようとしてゐる時、お晉代たちは十町あまりも川岸を遡つてゐた。

いつしか男達の喧騷も耳に達しなくなつて、野面には雲雀が鳴き、蓮華草や菜の花の田畑が、大波のやうに起伏しながら目路遙につゞき、その間に藁葺の農家が點在し、鷄の鳴く音も長閑に聞えて來るのであつた。

「まア、隨分來ちやつたわね」

「さうね、もう櫻の木もなくなつてしまつたわ」

「みんなどうしてるでせう」

「きつと底拔け騷ぎをやつてるでせうよ」

「いやだいやだ、わたし酒飲みは大嫌ひ。くさい息をふきかけて、誰の前でも構はず手を握つたり、首つたまへかぢりついたりしてふざけるんだもの」

「ホヽヽ、それは千いちやんが美しいからよ。わたしなんかのやうな年寄りになつちや、もう誰れも構つて呉れないけれど……」

「さうともさうとも、千いちやんなんか、今が花ざかりだもの。一生で一ばん樂しい時代よ。わたしなんかも、もう一度千いちやん位の年になつて見たいなア」

「花ざかりと云へば、お晉代さんなんか、今が眞盛りだわね。此の間も若い連中がよつて今、會社の美人番附を拵へてゐると云つてたが、こゝにゐる千いちやんでもお晉代さんでも、差向き大關か横綱といふところだらうね」

「ホヽヽ、おばさん、お上手だこと、わたしなんかビリッコだわ」

「何の、そんなことがあるもんか、何れそのうちに出來上るさうだから、まア見て御覽なさい……」

「關東煉瓦の美人番附が出來るんですつて。それは見ものでせうね」

こんな他愛ないことをしやべりながら、一行が十四五町も來た頃、急に空が暗くなつて、日影もバツタリ消えてしまつた。

「おや、變ですのね」

「あら、西の方があんなに曇つて來たわ」

「おゝ、之れは大變だ。きつと大降りになつてよ」

「關東煉瓦のお花見は、もう大雨大風に相場がきまつてると見えるのね」

一行が慌て騷いでゐるうちに、風は次第に吹き募り、彼方の櫻が吹雪のやうに高く空へ舞ひ上り、ぱつと亂れて四方に散亂する。

「さア早く歸りませう。ぐづぐづしてると雨になつてツブ濡れになつちまふよ」

「さうだ。驅け出しませう」

「でも、いくら驅けても途中で雨になるでせうね。困つたこと」

一行はそれぞれ裾を高くかゝげたり、足袋を脫いだりして驅け出した。

そのうち、激しいしぶきに大粒の雨がパチパチと吹きつけるやうに落ちて來て、髮を打ち、着物を濡らすのであつた。

最初のうちは四五人が順々に列をつくつて走つてゐたが、いつしかみんなが離れ離れになつてしまつた。

やがて、物凄しい電光と共に春雷がおどろおどろと鳴り出した。續いて篠つくやうな雨が沛然として降り出した。

お晉代は、まだ一町も走らぬうちに、ひとり取りのこされてしまつた。あたりを見ると、野中に藁小屋があつたので、彼女は一時、そこへ雨宿りをするつもりで驅けこんだ。

小屋の中は薄暗かつた。ちよつと氣味が惡くて、足が進みかねたが、しかし軒下では雨のしぶきがかゝるので、おもひ切つて、そのうす暗い土間へ踏みこんだ。

と、そこに人の氣配を感じたので、彼女は覺えずハツとした。

そこは人の住むべきところではなかつた。いろんな農具がしまつてあるところらしく、壁も天井も藁や蓆で繕うてあつた。

坂本步兵○團長 威風堂々建昌營入城

敵の遺棄死體五百に余り 我軍亦戰死二十六

冷口附近長城線近くの陣地を占據し頑强なる抵抗をなしてゐた支那軍を突破した松田部隊は十一日午前九時台頭嶺を出發敵を建昌營東方へ追擊し十時三十分西孟各庄に進入せり、又高田部隊は午前七時難攻不陷を誇る冷口關門を突破し十時三十分建昌營に進入した、續いて正午頃坂本步兵團長は威風堂々建昌營に入城するに至つた、なほ十一日夕刻迄に知り得た、冷口方面の我軍の損害は戰死將校二名、下士官兵二十四名、負傷將校四名、准士官一名、下士官兵九十五名で戰傷者將校は左の通りである

戰死者 第○○○○隊赤道部隊大迫中尉 第○○○○隊常岡部隊佐藤少尉

負傷者 第○○○隊殿賀少佐上原大尉第二十三聯隊鷲津部隊高橋中尉甲斐少尉山口特務少尉（准士官）、又敵の損害は多數ある見込で既に目擊した死体だけでも少くも五百は下らなかつた

南天門の堅固な陣地の敵に 疾風迅雷的の猛擊

古北口方面では既に南天門の堅固なる陣地を占據した敵に對し、疾風的の猛擊を加へて居り、喜峰口方面では受金店附近にある敵に對し步、砲共同の下に猛烈なる攻擊をなしてゐる、又海嶺口方面では中村部隊が喜峰口の南にある青山口高地より石家溝の高地を經て小嶺南側の堅固なる敵陣地に對し拂曉來全力を擧げて攻擊を開始してゐる、中村部隊十日の戰死者は兵八名、負傷者下士官以下十名

敗軍の將何應欽の 責任問題隨所に起る

冷口軍は難攻不陷を誇る陣地に約七千の精銳なる兵を配してゐたが僅か一夜にして我軍に破られたがこれは何柱國軍を灤東線へ後退せしめて突角を形造つた何應欽の責任である何應欽は開戰以來專斷的な行爲をなしその結果は一として成功せず又楊杰は何應欽との意見合はず遂に南京へ引返すに至り各方面に於て責任問題が隨所に起つてゐるが蓋當然の事であらう

高田部隊冷口を 完全に占據す

〔冷口十一日發國通〕長城線に在つて頑强に逆襲し來れる支那軍の據點占據の目的で活動しつつあつた高田部隊は本朝七時完全に冷口部落を占據、目下敗走中の支那軍を追擊中

楊村、蘆臺間に 軍事鐵道敷設

對日策謀に狂奔する何應欽 昌黎秦皇島間は單線

〔北平十一日發國通〕蔣介石の幕下にあつて旺んに北を進出及び對日策謀に ═狂奔═ せる何應欽は、過般來の戰闘に損傷を蒙れる前線の補充輸送が非常に頻繁になるに鑑み何の指揮する北平軍事分會まで之が輸送の迅速を圖る目的より北寧鐵路局に命じて楊村、蘆臺間に軍事專用鐵道を敷設せんとし、數日前より、右工事の起工に着手したが、右鐵道に用ひるレールは昌黎、秦皇島間の複線を單線とし、萬一不足する時は右個所以南唐山附近のものを取外し、使用する計畫であるが、茲に問題とされるのは、右區間の鐵道は從來より國際管理下に置かれしものにて、若し右計畫にして表面に現れるに於てはその ═結果═ は重大なる波紋を起すに至る可く、各方面より注視されるに至つた

何應欽の雜軍整理策謀に 東北雜軍大恐慌

〔北平十一日發國通〕何應欽は既報の如く東北軍及雜軍の處置に關し種々の策謀を講じ最近では反蔣運動に伴れて反何應欽熱が擡頭しつつあるに對し彼の術策は愈々嚴しく、第一線の戰闘に於て損傷を被れる軍の補充に就ても中央軍の損傷には無制限の補充を行ひ、一方東北軍並に雜軍の補充については容易に補充に應ぜず、動もすれば雜軍整理の見地より師團を旅團に、旅團を團に改編せんとしてゐるので過般來の戰闘に大半の損傷を受けし之等軍團は目下の處く 斯く何運動の裏面に於て相當何應欽の右手段に恐慌を來しつつあり、要するに新の如き手段により之等軍閥の勢力を削がんとする何の意圖は愈々濃厚の度を深めるに至つた

秦皇島支那稅關日本官吏

支那兵の爲拉致さる

〔山海關十一日發國通〕情報によれば「在秦皇島支那稅關吏山葉某は本月六日緝稅監視船輔平丸に乘船、昌黎附近を巡航中兇虐なる支那兵のため日本人なるが故を以て不法にも逮捕拉致されたこと判明したが、未だに其後の情報が齎[illegible]く、同氏の安否氣遣はれて居る

劉戡督戰司令に

何應欽は灤東地區にある支那軍の戰鬪力充分でないと見取つて第八十三師長劉戡を灤河沿岸の督戰司令に任じた、劉は部下を率ひ灤縣に進出する事になつて居た今日となれば聊か手遲れの感がある

戰利品 夥しい

西部隊の疾風迅雷の行動は敵を壓倒し熱河作戰で鹵獲した兵器、彈藥は驚くべき多數にのぼり今日迄に判明した彈藥だけでも次の如くである

小銃、拳銃彈四十五萬發手榴彈五萬發各種砲彈二萬發

宋哲元 天津へ歸る

第二十九軍長宋哲元は察哈爾主席の任命を辭し八日夜從者五名を伴ひひそかに天津英租界十七號の自宅に入つた、宋が天津に來た目的は母の病氣見舞なごといつてゐるが、熱河戰に於て徹底的損害をうけたにかかはらず中央では言を左右にして兵器、軍費の補充をせぬのみならず始終商震軍中央軍に監視され手も足も出ず氣を腐らしたものとも見らる今後における彼の行動は注目に値する

黃護國軍 第三軍長赤峰へ

〔鄭家屯十一日發國通〕開魯に駐屯中だつた護國軍第三軍黃軍長は八日午前六時副官長並に衛隊十名を卒へトラックで赤峰へ向け出發した、これに續いて護國軍第四軍は九日開魯出發、烏丹城に向け進發した

伊太利飛行中佐を 支那空軍總指揮に招聘

〔天津十一日發國通〕傳へられるところに據ればイタリーの有名な飛行家マリオ・ベルナルゼ中佐は今日招聘に應じ支那空軍の總指揮に當ることになつた

楊村盧臺を結ぶ 直線鐵道敷設を圖る

戰事指揮の關係から

〔天津十一日發〕北平に於て山海關方面の戰事指揮に關し北寧線は殊更に天津に迂廻するの嫌あり殊に天津には日本軍が駐屯し作戰内容の曝露のおそれありとて楊村より直線に盧臺に通ずる臨時線を計畫してゐたが建設材料の不足のため唐山、秦皇島向の複線を取外ずし之を以て輕便鐵道を假設せんとし、秦皇島、唐山間の複線を取り外しつつあり

服部々隊 撤河橋を占領

〔喜峰口十一日發國通〕敵の逆襲根據地を破壞すべく、行動を開始した喜峰口守備の服部々隊は潰走する敵を蹴散らし、今朝喜峰口南方の撤河橋を奪取した

赤峰、承德、凌源、北票に 領事館警察分署を新設

〔錦州十一日發國通〕赤峰領事分館開設と共に領事警察署も新設され赤峰同樣承德、凌源、北票の各地にも警察分署を新設することとなり各地派遣外務省警官四十五名は十日午後二時五十分、同七時四十分の二回に分れ來錦した、一計四十五名は種々の準備完了を待つて任地に赴く筈で同警官一行はハルビンより二十六名、吉林十名、間島より九名選拔されたもので全部獨身者である

米國の積極的 對支武器輸出

總額七十萬弗に達す

〔新京十二日國通〕米國前國務次官キャッスル氏の演說は當地方面に相當の好感を支持して居るが、最近上海方面より當地に達した情報によれば米國フィラデルフィヤ・フェデラル・ラボラトリアス會社上海支店を通じての米國の對支武器輸出は著しきものあり既に判明せるもの丈けで爆擊機六十臺、ヘルメット、爆彈等價格約七十萬弗のものを支那政府が購入して居るが、時節柄注目されて居る

周天津市長を排斥

〔天津十一日發國通〕天津市長周龍光暗殺未遂犯人取調べの結果、市黨部委員劉不同が周市長に對する私怨を晴さんため使嗾したことが明瞭となつて劉不同は市黨部を結束し露骨な周市長排斥運動を始めた

物資滿載のトラック

廿數臺奧熱河に

〔錦州十一日發國通〕總務院指導の下に熱河各地に物資輸送のため編成された二十數臺のトラック物資輸送隊はいよいよ十日午前八時、二十數臺のトラックに物資を滿載して北票に向け出發した

錦州軍事辦事處 新京に引上げ

〔錦州十一日發國通〕熱河討伐も完了したので滿洲國軍政部錦州軍事辦事處は新京に引上げることになり處長川崎中佐引卒の下に本日午前十時五十八分發列車で新京に向け凱旋の途に就いた

熱河軍旅長 近く馘首されん

何應欽は東北軍、熱河軍の切崩し改編に辛辣なる腕を振ひいよいよ湯玉麟軍を正規軍に編入し湯を第五十五軍長に任命し同時に何※をお目附け役とし副司令に任じた、熱河軍の旅長張從雲、湯北亭、石文華はそれぞれ敗戰の責を負つて近く馘首せらるる筈である

冷口占領に 眞崎參謀次長から祝電

冷口占領に對し眞崎參謀次長は武藤關東軍司令官宛左の如き祝電を寄せた

冷口占領の吉報に接し謹で祝意を表すると共に戰死傷せる將兵に深甚の敬意を表す 眞崎參謀次長

政變などは 當分起らぬ！

―閣議後陸相語る―

〔東京十一日發國通〕荒木陸相は本日閣議散會後首相官邸に居殘り約五分間高橋藏相と要談を遂げたが會見内容に就て陸相は語る

本日藏相と會つたのは滿洲の重要問題に就て僅か五分間程話をしたに過ぎない、政局問題には全然觸れかなつた、今日の閣議では全閣僚とも出席し、何れも非常に朗らかな顏をして居た、政變說等有り得べきでない世間では藏相が直ぐにでも辭められるやうな噂をして居るが自分はそんな事は無いと思つてゐる、まア本月下旬靖國神社臨時大祭が行はれるが、それまでは無風狀態で政變等は起らない

藏相、陸相の會見

政局とは無關係

〔東京十一日發國通〕高橋藏相と荒木陸相は閣議前約五分間總理官邸で會談したが、右は政局に關係無く昭和製鋼所の設置問題と熱河の軍備問題を協議せるものである

蘇聯誠意なく 重ねて貨車を引込む

蘇聯側の不法トランジット並に貨車引込に滿洲國側鐵道部では遂に斷乎實力を以て之を阻止するに決定、九日には聲明を發するに至つたが、蘇聯側は更に誠意の認むべき所なく不法にも十日午後三時滿洲里 境警察隊の監視を冒して貨車二百十七輛を蘇聯領内に引込み、問題は俄然重大化して來た

八條隆正子 貴族院議員辭任

〔東京十一日發國通〕貴族院議員八條隆正子は今急の思想問題と家庭上の都合により貴族院議員を辭任することとなり、十一日事務所に辭表を提出した

重光公使 歸朝歡迎午餐會

〔東京十一日發國通〕日本工業倶樂部では十一日正午日華實業協會、日本經濟聯盟、東京商工會議所の聯合主催の下に重光公使を主賓として内田外相、有田次官、有吉公使等を招待し、重光公使歸朝歡迎午餐會を開催した

世界經濟會議代表 石井子か幣原男

〔東京十一日發國通〕經濟會議の代表に就き外務當局は今回の會議は單に世界經濟會議の豫備會談に終るべからず、我國では此機會に滿洲國問題に關する帝國の根本所信を披瀝して諒解を得ると共に軍縮に對する既定方針を說明して一九三五年の會議に臨む日米間の根本諒解を得べしとの見解の下に經濟財政の專門家だけを以てせず我外交方針を說得し得る人物を必要とするが石井菊次郎子か幣原男が適任だと希望して居る

米國の招請を 應諾に決定

〔東京十一日發國通〕十一日の定例閣議は午前十一時より

人事往來

▲木村善太郎氏（文部省督學官）十日午後十時來京、國都ホテル
▲風見謙次郎氏（東北帝大學生課長）同上
▲田邊敏行氏（元滿鐵理事）十一日午前九時南行
▲小松原大佐（ハルビン特務機關長）十二日午後三時三十五分來京ヤマスヤ旅館へ投宿の豫定
▲日下内務局長（關東廳）十二日午前八時來京國都ホテルへ
▲柏田忠一氏（拓大教授）十二日午前八時來京滿蒙旅館へ
▲三浦緣郎氏（吉林省總務廳長）十二日午前吉林へ
▲金谷少佐（安東憲兵隊分隊長）十二日午前九時安東へ
▲千木良少佐（步兵第○○○隊）十一日午後三時三十分來京、同四時三十分南行
▲凌陞氏（興安北分署長）十一日午後三時三十分來京
▲清水課長（關東廳土木課）十一日午後四時三十分南行
▲水谷課長（關東廳特高課）同上
▲横山大佐（關東軍司令部附）同上
▲坂田大佐（關東軍參謀）同上
▲齊藤中佐（飛行第○○○隊附）同上
▲宮川二等軍醫正（飛行第○○○隊附）同上
▲安達中佐（臨時線區司令官）十一日午後七時五十分來京
▲龜井象次氏（呼海鐵路旅客係）十二日午前八時四十分ハルビンへ
▲小磯中將（關東軍參謀長）十二日午後四時三十分南行の豫定
▲佐伯中佐（前新京線區司令官）同上
▲藤田篤直氏（鐵道省調査課事務官）十一日午前八時四十分ハルビンへ

名物の惡道路 愈よ改修さる

今秋までには面目を一新 新京特別市の計畫

新京特別市政公署では名物の惡道路改修に着手することゝなり道路工事費大同元年度追加豫算として一萬五千圓が通過し、二年度豫算二十萬圓も諒解がついたので愈々全市に亘つてタール補裝の道路工事に着手することになり兩三日中に先づ七馬路より着工する事となつたが、今秋迄には相當の進捗を見るべく少くとも主要街路丈けは惡路の惱みが一掃される筈である

鐵道事務 打合せ會終る

既報、十一日午前八時半より驛貴賓室で開催された新京鐵道事務所管內の打合會では、今回鐵路新設に伴ふ、鐵道事務所長の權限の擴大につれ業務關係事項も從來と異つた點が生ずるのでこれに關し主管事務の指示打合本年度の實行目標、即ち新進の養成、事故防止、業務改善等に關し各驛より案を持ち寄り審議、大體各驛に於て上述の目標により善處する事と決定午後四時過ぎ散會した

江防軍艦 海光、海鳳命名

滿洲では今回江防の完全を期するため購入した軍艦に、執政親ら「海光」「海鳳」なる命名をなし、この二艦の英姿を松花江上に浮べ防備に當らしむることゝなつた

田中大將三百萬圓事件で

告發の名物男 川上親孝に退去命令

故田中大將三百萬圓事件を告發して政黨政治華かなりし頃の世間をアツと言はせ、一國名物男になり了せた陸軍豫備中尉川上親孝（四五）は十日守島ハルピン總領事から左の如き事情の下に、向ふ二ケ年間在留禁止の退去命令を受けた、往年の得意時代の面影もなく、悄然滿洲を後に歸國の途に就いた

川上は昨年七月渡滿ハルビン埠頭區に居を構へ舊友連が相當の地位にあるを

『利用』

し一旗上げんと目論んで居たが、既に時代が彼を容れて呉れず、浪々の日を送つて居たが、[illegible]

更に最近王某と共謀彼一流の大ボラを吹きまくり、利權を與へる約束で滿人數名から數千圓を支出せしめた疑あり、彼に對する怨嗟の聲はハルピン在留邦人間に高まつて來たので

『當局』

は日滿親善に官民一致努力して居る際彼の如き存在は日本の對滿方針を阻害するものと認め遂に斷乎たる處分に出でたものである

大正天皇の御生母 柳原二位局重態

〔東京十一日發國通〕大正天皇の御生母柳原二位局は數日來御風邪にて四谷信濃町の御邸で御臥床中のところ御重態に陷らせられたので天皇、皇后兩陛下には十一日午後御見舞として果物一籠を賜はつた、尙湯淺宮相及び甥に當る柳原義光伯等同日局の御病床を御見舞申上げた

新京驛貨物ホームを大擴張に決す 五月中旬には竣工

新京驛では新京土建界最高潮期を前に建築材料の新京驛荷卸激増し、小口扱の貨物も亦人口増加に伴ひ急増せる爲現在の新京驛の設備では非常に手狹を感じ、過般來滿鐵々道部及新京驛間に於て種々協議研究中であつたが、この緩和策として大規模な増設案を設計し、一部は既に完成を目睫に控へて居り、他も目下工事を急ぎつゝあり、五月中旬までには竣工を見る豫定で、増設及改造中のホーム線路は次の如くである

一、建築材料到着ホームとして機關庫北側に長さ四百五十五米の引込線二本を敷設建築材料荷卸のみに使用し二十日頃までには完成の豫定

二、現在の小口發送二號上屋を倉庫とし、更に同小口扱線を百六十米吉長線新京驛構內まで延長、吉長驛構內の一部も滿鐵構內として使用する倉庫に改造される二號上屋の西、延長線に百六十米のホームを新設し即ち從來の到着扱ホーム三號倉庫と共にこの並びのホームは全部到着扱ホームとして三號倉庫に隣接する野積ホームは重量物積降ホームとする

三、從來の小口發送扱けは四號中扱所で行ひ四號倉庫の西側に發送ホームを作る

四、火葬場前に百七十八メートルの引込線を新設し吉長線小口到着貨物の取扱ホームとする

首相暗殺陰謀の今巻博士 第一回公判

〔東京十一日發國通〕齋藤首相の暗殺陰謀にて殺人豫備罪に問はれた今巻博士の第一回公判は今十一日午前十時四十分東京地方裁判所に開かれ裁判長は暗殺計畫の有無に就いて聽き、「誰か暗殺して呉れゝばいゝ」と言つたと逃げ「社會改造の爲には已むを得ぬと思ふ」と陳述した

當日の盛儀が豫想されやう

廿七日の滿洲事變慰靈大祭

關東軍主催の下に來る二十七日午前十時から西公園グラウンドに於て執行される滿洲事變慰靈大祭は極めて盛大に行はれることゝなつたが當日の參列者人員は新京市內だけで各官公署各種團体その他を合して約七千名の豫定で、それ／＼案內狀が發せられることゝなつた、なほこれに沿線各機關代表、一般地方民の參列者を加へると悠に二萬人以上にも上る見込みで當日の盛儀を豫想さるべく、關係當局では目下これが準備に忙殺されてゐる

マンチユリー 國境警察隊長更迭

國境警備隊長異動は去る四月一日附を以て左の如く發令されたが、宇野滿洲里警察隊長が瓦房店に轉任する事となつたのは昨年の滿洲里事件に身を挺して居留民の安全を圖り職責を全うした獻勞の意味も含まれて居ると見られて居り後任の深井新任隊長は宇野隊長の後任として滿洲里國境警備の任を完うするに足る人物である

滿洲里國境警察隊長 宇野登二
補瓦房店警察隊長

瓦房店警察隊長 深井直一
補滿洲里國境警察隊長

新京總領事館異動

奉天總領事館在勤司法領事花輪三次郎氏は十一日附で新京總領事館兼吉林總領事館在勤を命ぜられた、尙新京吉林哈爾賓兼任であつた司法領事秋山兼冬氏は哈爾賓總領事館專任となるものと觀測さる

守備隊將校けふ歸京

錦州方面に出動中であつた新京守備隊の將校以下十六名、十二日午後三時三十五分着列車で歸京した

滿洲國旅券規則 六月一日頃發布されん

滿洲國外交部は同國を訪問する外人愈々頻繁なるに鑑み之が取締の爲め旅券規則の起草を急ぎつゝあつたが、この程漸く脱稿を見、來る六月一日頃を期して發布の段取りとなる模樣である

北海道余市町の大火 全燒二百戸を出す

〔余市十一日發國通〕十一日午前十一時半頃北海道余市町大川町山岸病院裏手から發火し火は忽ち四方に燃へ擴かり同病院附近一帶をなめつくし更に櫻小路全部を灰燼に歸し全燒二百戸を出して午後一時四十分漸く鎭火したが、同町は目下鰊漁期で手不足の爲非常な混雜を呈して居る、原因損害は目下取調中である

根室釧路地方 稀有の大降雪

〔札幌發電〕北海道根室釧路原野地方は三月以來三回に亘り稀有の大降雪に見舞はれ積雪二米に達した地方あり放牧の馬四萬頭の中二萬八千余は食糧と水を絶たれ遂に濱仲太田原地方放牧場だけで三百頭に近い餓死馬を出した詳報により救護班として八日山本技師以下數名を現地に急派した

外交部員の素人芝居上演 三陸震災救濟のため

三陸地方の震災に羅災した不幸な隣邦の友人を救濟するため滿洲國外交部員の有志が相寄つて素人芝居を演じ救濟基金を募集するといふ朗らかな企てがある中にも涙ぐましい企てを爲す同部では謝總長以下大童になつて募金に奔走既に相當額を纏めて居るが、更に拍車をかけたいと一錢でも多くの淨財を贈り度いといふ趣旨から來る廿九、卅の兩夜新京長春座に「日滿親善劇」を上演慈善劇會を開催する事に決定した、脚本は同部員になり、震災に會つた不幸な日本人が滿洲に雄飛して粒々辛苦相當な地位を築き美しい滿洲娘と結婚赤い夕日の下に幸福な家庭を作るといふ筋書で日本語滿洲語取交ぜて用ひ女優として同部のタイピスト孃が出演する筈である

大日本聯合青年團 第九回大會開催

〔東京十一日發國通〕大日本聯合青年團は十一日午前九時から日本青年會舘に第九回大會を開催全國青年團代表三百卅名參集、理事長後藤農相の外、商相、文相も列席、後藤理事長の挨拶に次で神宮並に皇居遙拜あり、詔書並に令旨奉讀後文相の訓示あり、引續き褒賞の授與式に入り、來賓の挨拶、中島商相の訓示あり、最後に文相から大詔を拜して全國青年に訴ふと題する一場の演説あつて正午式を閉ぢた、午後は引續き會議に入り文部省諮問の、現下の時局に鑑み青年團として實行すべき具體的方策如何其他の會議事項を協議、更に十二日から十六日迄同所で第六回青年創作副業品展覽會、研究資料展覽會、十四日より十六日迄郷土舞踊等が開催される筈

思想對策委員會

〔東京十一日發國通〕昨十一日定例閣議に思想對策協議會を首相官邸に設置することに正式決定し、近日中に第一回協議會を開くこととなつた

吾等が愛國機 十五日に飛來

五機銀翼を連ねて感謝飛行を行ふ

在滿邦人の熱誠な愛國心の發露である吾等が愛國機滿洲號五機はいよ／＼十一日太刀洗より大連着、十三日大連市外周水子飛行場において盛大な命名式を行ひ翌十四日から沿線各地に感謝飛行に向ふ、新京着は十五日奉天から飛來し一旦飛行場に落付いてのち五機銀翼を連ねて新都の上空に感謝飛行をなし翌十六日ハルピンへ向け出發することになつてゐるが新京時局後援會ではこの意義ある愛國機の飛來に際して當日はぜひ官民多數の歡送迎を希望してゐる因に周水子に於ける命名式には軍部及び時局後援會からそれ／＼代表者が參列するが後援會では荒木會長に代つて稻葉地方事務所庶務係長が列席することになつてゐる

周水子着陸 近藤編隊長元氣に語る

〔大連十一日發國通〕天候不良のため到着が遲れて居た我等の獻納機愛國滿洲號六十四、六十五、六十六、六十七、六十八號の通信連絡機五機は本日午前八時半京城出發、春光に銀翼を輝かしつゝ午後零時三十分周水子飛行場東南方にその美しい機影を現し編隊長近藤少佐の六十五號機を先頭に着陸晴れの滿洲入りをなした、近藤少佐は語る

八時半京城を出發、氣流もまあ良い方でした、途中安東の上空を一週市民に敬意を表して來ました、機關の調子も上乘で充分皆樣の期待に添ふ活動が出來ると思ひます

尙命名式は十三日午前十時より小磯參謀長安藤要塞司令官其他參列の上擧行される

愛國滿洲號五機 機翼を連ね京城發

〔京城十一日發國通〕全滿邦人の熱誠に成る愛國機プスモス五機は京城一泊の上十一日午前八時五十五分輸送指揮官近藤少佐の命令一下機翼を連ね京城發一氣に大連に向つた

新義州上空を通過

〔新義州十一日發國通〕本日午前八時五十五分京城を發した愛國滿洲號五機は午前十一時四十五分當地上空にその雄姿を現し、快晴の空にやがて機影を沒した

ダンチヒの獨逸奪回を叫ぶ社會黨

〔ダンチヒ十一日發國通〕帝政獨逸の再建を目指して一路獨裁政治の完成に邁進しつゝある國粹社會黨は、更にダンチヒ自由市の獨逸奪還を企圖し其第一歩として、國粹社會黨ダンチヒ地方黨部は愈よダンチヒ自由市議會に解散を要求することに決した

國難打開護國祈禱會 十一日日比谷で

〔東京十一日發國通〕國難打開の護國祈禱會は十一日午前九時半から日比谷音樂堂で陸相代理礒谷少將を始め中野大將、高田井上奧平の各陸軍中將入澤海軍中將愛國婦人會々長代理龜井女史外多數の來賓參列の上神式でいとも壯嚴に擧行された、會塲正面に純白の祭壇を設け、靖國神社の加茂宮司が祭主となつて壯嚴裡に委員長一條實孝公の祈願文玉串拜禮等があつて、午前十一時閉式し、引續き約百名の僧侶が出席して勇壯な日蓮宗祈禱宗法が行はれ、正午閉式した、尙ほ午後二時より芝增上寺で佛式による護國祈禱會が行はれ、終日に亘る祈禱會が行はれた

五・一五事件取調べ終了す

近く軍法會議に附す

〔横須賀十一日發國通〕五・一五事件の海軍被告は昨日を以て取調べを終了した、陸軍側も近日中に一段落する、海軍側は島田豫審官が事件の首魁某法學博士を取調べる筈だがこれも近く終了の見込みで尨大なる一件書類は月末には檢察官の手許に送られ、訴狀作成の上大角海相の決裁を經て東京軍法會議の公判に附する筈で、裁判官の人選は大角海相以下考慮中であるが裁判官には軍務局第一課長井上成美、第一課長原清、横須賀防備隊司令眞崎勝次、扶桑艦長荒木貞亮の各大佐が呼聲高く、辯護人は塚崎眞義氏等に決定してゐるが、被告等は辯護人を付するを好まず、事態を憂慮されてゐる

猫八開演 十二日長春座で

長春座は十二三の兩夜江戸名物猫八その他の珍藝大會が催されるが猫八との問答に出國の優秀なものには炭、大阪西の宮の金惠比須大黑を猫八との問答に勝つたものには白米一俵を贈るさうである

花街の噂 ちよつと訂正

昨日のお玉杓子が蛙になる！

といふ噂の中で少々違つてゐることに氣がついたので訂正します、文彌の桝、萬作の鬼女、文菊と文丸の家臣だつた「戻橋」と間違へたのです、去年の十月大森彦七をやつた時には只今記念館裏彌生に富美香と名乘つて居ります其頃開花にゐた「萬作」の大森だつたそれから千早姫は萬中、萬平もその後ある御仁からひかされて南の方に行つてゐましたが近頃また新京に戻つて來て居るやうですな、オツトこれは餘談に走つてしまつた、それから家臣は、只今はもふ開花に居らなくなつた久松こそれから文丸でした、何れにしてもよく家來ばかり演つてゐた文丸が今度は彦七ですお玉杓子が蛙にでせう

×

でありますから文丸贔負は大に激勵鞭撻の義務があるでせう、さころでこの前大森彦七をやつた萬作姐さんつまり只の富美香姐さんと文彌と間違へたことを明らかにしその名譽保全になんてむづかしい譯ではありませんかこれが前の大森彦七です

ラヂオ

十三日（木）新京

新京後五、二〇演藝
奉天後五、四〇講演
新京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇ニュース英語
新京後七、ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニュース東京中央放送局編輯

奉天後五、〇〇レコード 銀行金銀相場 商業通信社

けふの銀相場

鈔票	金票	九八四五
大洋	金票	九五四七〇
國幣	金票	九、四九〇
大洋	鈔票	九六四七六

幕末異聞

愛慾火箭

作　瀧川駿
（上演上映）畫　村瀬洗舟

（二十七）

人買ひ船（一）

佐渡は四十九里浪の上、とは能登の岬から測量つた事で、越後の寺泊からならば、海上僅かに、八里十七丁の里程だつた。天氣の良い時なら、道を通つてゐる人さへ明確と見える位、無論風具合に依つては、盥船でも渡れるのであつた。

その寺泊の霜月、そして夜の明け頃だつた。鳥海、彌彦の山から吹く颪は、時々粉雪を運んだ。

荒磯にしぶく浪は、礫を碎すのやうに光らせた。

岬はづれの、常夜燈の下に、苫がけ船が一艘繋いであつて、その傍には、粗朶が燻つてゐた。

焚火を圍んで、船の舳に腰を下した荒くれた男二人。それは昨夜の嵐に島抜けをした、お猿の吉次と、この界隈では子守娘の口の端にまでのつて、怖がられてゐる、人買船の、佐渡の治

治作は舳から、腰を下して火の側へすり寄つて、煙管を懷中へ藏つた。

『ぢや、俺いらが値をつけやうか？　大きく兩手と行かうか』

『百兩かえ？』

『おつと、素人ぢやあるめえし桁違ひも程があらあ』

『十兩なら眞平だよ。出雲崎あたりの飯盛に拾賣りしたつて、この顔でこの玉なら三十兩は缺けめえよ』

『さうかい、お前とは暗い抗内からの馴染だ。お前の顔を立て、うんと高値に踏ん張つて、二十五兩なら手放すかい？』

かう話が定まつて、治作は起ち上つて船に乘つた。

『何うするんだい？』

『胴卷を、船へ忘れて來たのよ』

かう言つたかと思ふと、治作は舳に寢かせてあつた女を、胴の間へ蹴落した。

作であつた。

緣起襦袢の裾をめくつて、粗朶に近よつた治作は、鉈豆煙管に火を點けた。

『これから、何處へ行く氣だい、え？』

『何處へ、的はねえが、もう一度江戸へ歸る量見だ』

『連の女は、何うするんだい。此の地で捌いて歸る氣か？』

『人買船にも似合ねえ、商賣氣の無いのも程があるぜ。――言はずと知れた、此處の土の厄介ものさ。だが、あいつは水いらずだぜ』

『ぢや俺いらに、賣つてくれねえか？』

『お前が買つて吳れると言や、古い馴染の誼だ、讓く負けて置かうで……』

『さう話が定まりやア、取引は船の中でしやうぜ。――此の寒空に立ち話でもあるめえ』

『おつと待つた。船に乘りやお前の天下だ。山育ちのお猿じや一寸苦手だからな』

『さう、お前が疑ふなら仕方がねえ。話は此處で定めるとしやう』

『何をしやがるんだい？』

怒りを含んだ吉次は、かう言つて、續いて船に飛び乘つた。

舳に突立つた治作は、せゝら笑つて、

『おい若えの、甘く見るねえ。玉は上玉かも知れねえが、御覽の通りの仇討者、十兩なら賣り物だ、これがその筋へ知れて見ろ、また元の抗内へ逆戻りだぜ』

『佐渡ぢや、名代手の人買船か知らねえが、陸まで來りやおいらの娑婆だ。手前のやうな泥臭い野郎に足許を見られて溜るけえ』

『ぢや、何うするんだい？』

『連れて行くまでよ』

かう言ひ乍ら、吉次は胴の間へ飛び降りた、それと刺し違ひに、佐渡の治作はひらりと汀へ飛び降りた。

かう思ふ内に、治作は手早く舳の綱を解いて、船をぐつと押した。

船は岸を離れて、五六間つゝと泳いだ。

四月十三日　舊三月十九日　木曜

●一白の人　秩序正しく事を運べば吉　店名弘め業宜し　乙と癸と寅が吉
●二黒の人　人に羨まるゝ運の日　企業は永く榮ふべし　丁と辛と亥が吉
●三碧の人　煩はしき故障の起り易き日　交際上に注意　申と癸と寅が吉
●四綠の人　譯話し易き心を引き立て活きと勉めよ　坤と壬と癸が吉
五黄の人　天祐のある日　和業名弘め金談縁談何れも吉　丙と庚と辛が吉
●六白の人　安請合をせず間違を生せざる樣愼重に謀れ　丁と戊と寅が吉
●七赤の人　身心共に惱みのきの日　外に在れば殊に然り　戌と亥と寅が吉
●八白の人　順風に帆を揚ぐる如き日　婚約企業開店等亦吉　丙と丁と庚が吉
●九紫の人　運氣沈み勝ちの日　焦れば益々不利の兆あり　甲と乙と庚が吉

總領事館刑務所の竊盜犯人が逃走す
昨日午後三時ごろ作業中 看守の眼を窺ひ

十二日午後三時ごろ新京總領事館刑務所未決收監中の竊盜犯人大坂市生れ松岡政和（二三）は領事館内で作業中、看守人の目を盜み逃走してゐるを午後五時ごろ發見、直ちに領事館警察署に急報した、同署では今江主任の指揮の下に全署員の非常召集を行ふ一方市内に非常線を張り犯人捜査に努めた、犯人松岡政和は竊盜犯人として新京警察署に檢擧され去月二十日領事館檢事局に送致されたものである

拳銃の行方—いづこ？
侵入說が有力
未ださつぱり見當がつかず 新京署血眼の活動

旣報、新京署構内獨身宿舍第五號岡崎巡査の官用拳銃盜難事件に關し新京署では時局柄、且つ署内獨身宿舍のことゝして非常に重大視し、嚴重捜査を續けてゐる、一方岡崎巡査に就き取調べの結果、犯人は外部から侵入した事實が濃厚となつてゐるが未だ何等の手掛もなく五里霧中の有樣である

大賊の仕業か 新京署某幹部談

右に就き同署幹部は語る

過失と云へば過失ではあり警察官の魂を盜まれることは不用意も甚だしい、併し當局として被害者を責めるよりも全署員はこぞつて犯人

『逮捕』に努めねばならない、犯人は外部か内部か二ツだ被害者を取調べの結果外部が濃厚となつた、果して外部であれば如何なる人物であるかに重點を置かねばならないことは云ふまでもない同舍は御存じの如く設備不完全のため行商人が非常に多く出入してゐるが、これら行商人の犯行とすれば余りにも大それたことである、今の處これ等商人の仕業かどうか疑はれてゐるが

『犯罪』が眞夜中のことであるからその點を考へれば相當大ものと睨み見るより他はない

訂正　なほ昨朝刊に被害者岡崎寅氏とあつたのは岡崎總一郎氏の誤りにつき訂正する

日本商品の移動廉賣列車
五月中に運轉開始

日本商品の輝かしい滿洲國躍進！滿鐵奉天動業係では先般鐵路總局と連絡を執り日本商品の列車

『移動』見本市開催を計劃し協議を重ねつゝあつたところ現在の國鐵各路の治安狀態が今尙不安の域を脱せぬので、尙早論もあり開催期を延期することになつて準備を進めて居るが之に代つて各鐵道局關係者のみを相手とする小規模の移動廉賣商品列車を運轉する事となつた、而して廉賣すべき商品は日用雜貨に限り輸入組合、實業團體とも連絡をとり先づ五月中瀋海、奉山兩鐵路沿線に列車を運轉して廉賣宣傳をなし六月中には北滿各鐵道局に運轉する豫定である尙此

『計劃』實施に當つては内地の各生產業者並に在滿の小賣者とも連絡し、充分に日本商

日滿スポーツ統制も 連絡會に提案

十四日文敎部で開催の全國体育係連絡會議に於て日本側で討議せられてゐる日滿スポーツ統制問題を新たに議題に追加審議する事となつた

朝陽鎭で日語講習

協和會中央事務局に達した情報によれば、朝陽鎭における日語研究の要望熾烈で、之がため同會では山城鎭の旣設辦事處より日語講習の專任講師を選拔、十日より實施講習に當つて居る

新京局で第三回の增員
事務員、配達各十名

新京郵便局では事變以來日每に膨脹して行く事務の爲、從來の事務員では到底完全な事務遂行は不可能で增員の

『必要』に迫られて二回の募集を行ひ十六名の增員をなしたが、それでも未だ手不足勝のため郵便課では第三回の增員を遞信局へ申請中の處、十二日新京にて採用すべき旨通達があつたので事務員十名配達夫十名を募集する事となつた應募資格は事務員中等學校卒業以上で年齡二十五才以下、配達夫高等小學二年卒業以上三十五才以下共に思想穩健にして職務に忠實な市内に

『確實』な保證人を有する者、希望者は自筆の履歷書持參十五日迄に郵便課迄出頭せられたいと、なほ希望者多數の場合は簡單な採用試驗を行ひまた締切を切りあげると

警士の密輸 新京署で逮捕

吉林省磐石縣第六區警務局警士劉振德（二三）は十一日午前十一時ごろ新京でモヒ三十匁ヘロイン一匁、コカイン八匁を密輸中新京署員に發見逮捕された

洋服屋にドロ公

市内永樂町三丁目二十番地洋服商五島勝太郎方へ十二日午前三時から同五時の間何者か侵入し仕事場にあつた黒ラシャ製裏付洋服時價四十五圓モーニング一着同百圓を竊取されてゐるを家人が發見し新京署に屆けた

左黨へ注進！
酒と見せた水
お客が氣づいて 早速新京署に屆出づ

市内富士町三丁目二十番地朝鮮料理店滿仙閣こと金禧京（六二）方へ十一日午後十時ごろ二人の朝鮮人客が登樓し遊興中、日本酒十二本を飲酒したがその中の四本に水を入れてゐるを客が發見し直ちに新京署に屆出た

つひ、うつとり……
忘れ物ご用心
旅行シーズンを控へて 斷然、多くなる

近頃の立て續けの暖氣に、ボーッとし永い蟄居生活より解放された人々の心には列車の走る音も、いと朗らかな春への行進曲の如くついうつとりして忘れ物をする者が非常に激增した

『四月』に入つてからでも旣に三十五件に上り、帽子が斷然多くトランク、ステツキ、外套等が之に次いでゐる中には鍋釜炊事道具子供のおしめ等奇拔な忘れものもあること中氣がついてとりに來るものは約半數、これから旅行シーズンを控へ、一段と車内の忘れ物が多くなるので係員はこの整理に忙殺され、驛倉庫には此等の忘れものがうづ高く積まれてゐる

『驛の』倉庫に約二十日位保管後警察に廻し警察で一ケ年間の保管を經過すると滿鐵大連本社に送附こゝで競賣に附する事となる忘れ物をした人はその當座は驛の案内係へ三十日以後は警察署へ屆け出ればよい

來る廿七日は休業日と決定
靖國神社大祭で

來る廿七日は東京靖國神社に於て戰沒者の慰靈祭を執行するに當り臨時大祭と定め全國の各官廳、軍隊、學校等臨時休業をなすべく六日附官報にておゝせいだされた

黄塵の洗禮
きのふ首都を襲ふた暴風 本年の最速記錄

十二日の朝來全滿は本年最速度の暴風の洗禮を受け、新京は文字通りの黄塵萬丈に行人を惱ましてゐるが午後三時になつて風速一秒間十メートル五、を示し本年最速記錄で八日の十メートル三を破り本年の最速記錄を現はした、これはチ、ハル東方一帶に七百九十六ミリの低氣壓あり、黄海方面に七百七十一ミリの高氣壓がある爲で十三日からは風も吹きやみよい天氣になるだらうと測候所の宍戸所長は語つてゐる

未曾有の防空演習
實施人員實に一千萬人

〔東京十二日發國通〕今夏開催の關東防空演習に關する、演習日取りは左の如く確定發表された

八月九日　豫行演習、燈火管制
八月十日　本演習第一日
八月十一日　本演習第二日拂曉戰
八月十二日本演習豫備

右演習は東京、神奈川、埼玉千葉、茨城の一府四縣下に行はれ參加兵力は近衞、第一兩師團の外、所澤、下志津、明ケ野原飛行學校濱松高射砲聯隊の陸軍側と橫須賀海軍鎭守府所屬軍艦、鐵防艦等參加し、演習實施人員五百萬東京市民の他參加縣民合計千萬人以上で前古未曾有の大演習である、從來の防空演習に審判官を設け一朝有事の際の活用に資する斯くて八月九日より三日間は太平洋より襲來する海軍機の精銳、之を防ぐ陸軍機とで實戰の儘の光景が展開される事となる

女工さん渡米 シカゴ博へ

〔東京十二日發國通〕六月から開かれるシカゴ博覽會に我國の蠶糸業を宣傳すべく、日本中の蠶糸界では五十萬圓の豫算で政府の應援を得て準備を進めて居たが、愈々十三日橫濱出帆の日枝丸を殆んどシルク船に仕立して出帆させ、更に生糸は動物質で植物質で無いといふことを殆んど知らぬ、アメリカに繭から糸迄の實演を觀せるため美しい女工さん二名をマチキンとして送る事となつた、選ばれた娘さんは女子大附屬高女出で片倉製糸の敎婦秦かよ（二三）さんと岐阜縣郡上部の郡是製糸の敎婦森雪江（一九）さんの二人である

滿蒙研究者を積極的に補助
外務省文化事業部

〔東京十二日發國通〕外務省文化事業部では從來團匪事件及び山東懸案解決協定に依る支那側の賠償金に依つて、敎育、學術、衛生、救恤の四方面に亘り、對支文化事業を行つて居たが滿洲國の獨立と共に情勢が異つて來たので同部内にも之に對する方針決定の必要を感じ、之が會合を十一日午後二時半から外務省内に開き岡部長景、服部宇之吉、白鳥庫吉、市村貴次郎、内藤虎次郎等の各委員及外務側からも關係諸氏出席し從來の事業の外に今後滿蒙方面に關して研究を志す者に對しては積極的に補助することを申合せた

乃木、白川兩大將の遺物を背負ひ
松崎正道師が來京 戰沒者の慰靈祭を行ふ

日清、日露、上海事變に軍屬として從軍し皇軍を慰め且つ戰勝を祈願し戰場で有名をとゞろかした、大日本物故慰靈會長、四國乃木會設立發起者松崎正道は今回乃木大將並に白川大將の遺物を背負つて内地はもとより滿洲各地を巡ぐり戰役者又は各地で哀れな死を遂げた人々の靈を慰めるべく來京した、なほ同師發起の下に來る十七日正午から祝町二丁目高野川で盛大な慰靈祭を行ふことになつたが、當日は在京佛敎聯合會員が多數參列、讀經をなすはずで一般の參拜を希望するとゝ

滿鐵の重工業 その緒に就く
斯波滿鐵顧問語る

〔大連十二日發國通〕十二日朝入港のアメリカ丸で來連の滿鐵顧問斯波博士は語る

滿洲化學工業會社は旣に株募集方法其他決定し着々準備は進んで居る、電力問題其他現場施設等の決定を待ち五月卅日の創立總會迄には歸京する筈、電力問題は同會社内にも設けるか外から供給を受けるか尙研究の上決定せねばならぬ、製品販賣は同會社でやる、製鋼所も認可を得た、之で滿洲に於ける重工業もその緒に就く譯だ、他の懸案諸工業もアルミの如きは是非實現させねばならぬが、企業化するには相當時日を要する計劃關係諸問題のため今度は當分滯在する

貸家を餌に釣る 惡ブローカー征伐
被害者每日十五人を降らず 新京署へ詰めかく

延び行く新京は春とゝもにいよく活氣を呈し躍躍として内地から王道樂土の新京へさし渡來者が殺倒してゐるが、いづれも住むに家がなく家…家…家と

『血眼』になつて、種々の方法を講じ家を求めてゐる、この家屋拂底の時をねらつて惡事を働く不良徒輩が多くなつたので當局でも頭を惱ましてゐるがそれらは何れも

よい家があるからと云かけ手付金だの又は高い權利金を取つた揚句さて、約束の家に引越さうとして人を入れ修繕、掃除に行つて見るとそこには他人が住んでゐるとか、又は自分が家主から權利を讓受けてゐるからと云ひ、まんまと權利金を偏取するもので

これらの災難にかつた氣の毒な人々は

『每日』新京署保安係に十五人を下らず押かけ歎きを賴つてゐる有樣である當局では今後かゝる惡ブローカーに對しては徹底的に取締りの上嚴罰に處すと

學校から 上原校長の微苦笑

新京室町小學校ではこの學年度變りに際して、上原校長の榮轉說がパツと傳はり、氣の早い父兄間ではいざ留任運動とまで出掛けたが、それは唯だ一片の噂に止まつたのですがの名校長も微苦笑……どうもいろ〳〵評判を立てられるは迷惑だ、これ以上榮轉どころではなくこゝを最後と思つて粉骨碎身一意敎育のために盡したい決心であるといつてゐる、なほ同校では他にも一名の轉失者もなく新しく訓導四名を迎へこゝに全部の顏觸れが揃ふこととなつてゐる

新京各學校職員異動

〔四月一日附〕神田　貞房
新京西廣場小學校訓導に任す
休職和歌山縣小學校訓導
松下　眞二
新京室町小學校訓導を命ず
松下　眞二
休職を命ず
橋頭小學校訓導
光野　貞衛
新京室町小學校訓導に任す
休職新京室町小學校訓導
松下　貞一
新京公學校敎諭を命ず

〔四月四日附〕香川縣小學校訓導寶ハルエ
新京室町小學校訓導を命ず
〔四月六日附〕岡山縣小學校訓導　野上　亘
新京室町小學校訓導に任す
山梨縣小學校訓導　西名　菊雄
新京西廣場小學校訓導に任す
新京西廣場小學校訓導　西名　菊雄
新京室町小學校訓導　野上　亘
休職を命じ非役を命ず
〔四月十日附〕大西　花子
新京室町小學校敎員を命ず
〔四月一日附〕休職鐵嶺小學校訓導　宮永　次雄
新京公學校敎諭を命ず

討匪守備隊歸る

去る八日午前七時湯山城方面の討匪に出動中の安東守備隊大村中隊長以下〇〇〇名は逸早き賊の逃走に依り同方面一帶に示威行進をなし九日午後三時十分着列車で無事歸安した。

弓道發會式

陽春の候となり野外運動の好期となつたので范家屯弓道部は七日發會式を擧行、下德部範臨席多數の新規參加あり頗る盛況裡に終了した

麻藥取締條約 樞府審査委員會

〔東京十二日發國通〕麻藥條約に關しては旣報の如く樞府審査委員會で將來委員會其他に出席して發言するの權利を留保宣言して承認することゝなり、政府に交渉の結果政府側も異論が無いため、樞府では十二日の定例參集の後審査委員會だけ居殘り、二上書記官長より政府との接衝經過を報告し、審査委員會としての態度を決定するものと觀られる

複式敎育は重大なる問題
范家屯で對策協議 新たに區長制を實施さる

范家屯に從來區長制が無かつた爲多大の不便があつたが邦人の增加につれ其必要を認め豫ねて委員會より請願中の處荒木所長の盡力により日滿各一名宛の區長設置の許可があつた、また同地方委員會例會は十日午後十一時より地方事務所會議室に開催、聯合會の報告、區長の詮考、警備街燈の增設を審議し目下范家屯の緊急事である小學校學級增加問題に就き其對策を協議した、沿線中同地のみは一、二、三、四年の複式敎育で敎育上から見ても重大問題であるとの聲が高い

警官の實科訓練

梨樹縣警務局では十一日管下公安隊分隊長以下の幹部を招致、三日間に亘つて西川指導官敎官として敎練、銃の操法其他實科の基本訓練を實施して居るが、之れによつて管下一般隊員の敎練の整一を期し併せて有事に當つて統一ある共同動作を爲し得る基本訓練となす

不良分子武裝解除

〔鄭家屯十二日發國通〕吉林滿鐵遊擊隊の不良分子騎兵百五十六名馬百二十六頭は、團長李永和に率ひられ洮遼護路第三軍に投すべく、軍政部の命を俟たずして獨斷にて洮遼に向ふ途中去る十日鄭家屯に到着一泊したる際鄭家屯にて全部武裝解除され首腦者三名新京に押送された

四平街より 總戶數增加 昨年より三百戸

四平街に於ける總人口は旣報の如くであるが、これに伴ふ總戶數日本人一千九十八戸、朝鮮人二百五十七戸、支那人一千九百四十六戸、合計二千九百五戸にて、昨年四月末の二千六百十五戸に比較すると二百九十戸の增加ぶりであるが今これを各管轄別にすると左の如くである

管轄	戶數
本署直轄	四〇二戸
中央大街派出所	四三五戸
寶泉街同	九七五戸
長榮大街同	三六三戸
南大街同	三二七戸
共榮大街同	四〇三戸
合計	二、九〇五戸

運送手續 相互諒解成る

安東驛の通關運送手續問題に關する各關係方面の協議會は九日午前十時より約三時間半に亘り商工會議所に於て開催されたが、主として安東稅關の現物檢査と簡易[illegible]に就いて忌憚なき意見の交換行はれ今後とも一層圓滿迅速なる通關檢査を圖ることに相互の諒解成り午後一時半散會した

東かつ

▲東洋軒のクミ子とマメ奉天のダンサーあがりだけにように足を收縮させたり手際良くからだを振動させたり人一倍大きい自分の身を自由にもて遊ぶが夜は絕体にやりませんそれは金五圓也の罰金がにらんでゐるからだそうです▲三笠の女將におさまつた泰東の菊韻先夜二階のホールでやゝこしい男とやゝこしい目付でやゝこしい話してましたこゝ浮氣するんじやないよ▲こゝのトシ子、近頃目立つてきれいになつて來た、何故でせう年のせいでせうか春故でせうかそれともいゝ人が？▲木村郵便課長、昨日嬉しそうに電話で大好きな奥さんとあかるい内から何事かしきりに相談してニコ〳〵してましたハテナ？やはり時は春です

天氣と氣溫

けふの天氣豫報、南西の風晴
十一日氣溫　高十三度六分、最低零下一度五分

婦人と家庭

エログロ時代と 性・病・受・難
恐るべき現代世相です

現今の經濟不況は全く漫性的で世界各國の凡ゆる不況對策に拘らず何時恢復されるさもはかり知れない。この經濟不況を我々醫學者の立場から觀るさ、云ふことになるかさ云ふさ、精神病患者の增加性病患者の激增を見逃すことは出來ない

殊に後者の性病の蔓延は、經濟不況、從つて社會不安による世紀末的エログロ流行さ極めて、密接な關係がある

▼―――▲

一体性病の感染さ賣笑さは百パーセントの媒介をなすこさは、賣笑行爲が法律によつて取締られてゐることによつても明らかであるが、純な青年達が眼覺め行く本能のために遂に花柳の巷や私娼街に出入したため直ちに性病に感染した實例は日常茶飯事的な事柄で、中には寧ろこれを當然の事の樣に考へてゐる者さへある。而も現今の經濟不況は青年達の結婚生活を極度に遲らせ、晩婚者の性の解決は必然的に公私娼によらなければならぬ狀態である

▼―――▲

これら青年の性の眼覺めさ晩婚者の性の解決が性病感染の大原因をなしてゐるのであるが、これは結婚生活に入つた場合、夫婦の性生活によつて妻に傳染せしめ、更にその他の方面に種々の機會から傳染せしめる結果さなり、唯一人の單なる獵奇心が及ぼす社會への害惡は計り知り難いものがあるのである

▼―――▲

公私娼の如く公認的性の賣買に於いて既にかくの如き危險があるのであるから、昨今流行の所謂エログロ獵奇は更に一層面白からざる結果を齎しつゝあることは明らかである。エログロ流行は暗い世相の當然歸結さみられるが、そのエログロ流行によつて社會は益々暗くされつゝあるのである。カフエーの女給が食はんが爲めに生きんが爲めに賣淫する、それは現代社會にも一部の責任があるかも知れないが兎に角それが社會に及ぼす害惡は、それは醫學的見地からすれば性病の感染さ云ふ恐るべきものである

▼―――▲

所謂エロサーヴィスさは何を物語るものであらうかカフエーの女給さかストリートガールさかそうした種類の密賣淫は、檢黴制度の下にある、私娼よりも更に危險で、性病感染率は非常に多いさ云はねばならぬ。而も獵奇行爲に原因する性病の媒介は、性行爲によらざる種々のサーヴイスによつても行はれてゐるものさ見なければならないし從つてエログロの流行は我々醫學者をして云はしむれば、この恐るべき性病の蔓延を何らの取締りもなく放任してゐるさ同一である

▼―――▲

性病の傳染經路は大別して直接傳染さ間接傳染に分ち得るが、その最も多いのは前述の如く賣淫、エロサーヴィス××を主さして不正な性行爲によつて陰部から陰部に傳染するのである

▼―――▲

間接傳染さしては梅毒患者の發疹から出た分泌物の附いてゐる器物を通じて感染し、又キッスも口腔梅毒を感染せしめる。また最も悲劇さしては遺傳梅毒であつて、父母の兩方或は一方に梅毒があれば產れた子に直ちに傳染するもので生れ出づる子にさつては甚だ迷惑である

▼―――▲

かく性病の傳染はあらゆる機會を狙つてゐるのであるから、余程警戒を要すべく、エログロの獵奇に耽溺し、或は一時の官能の刺戟によつて不正の性行爲をなし、遊蕩見然さして顧みざるが如きは全く自ら生命を縮め、自ら子孫を汚しつゝあることを忘れてはならぬ。ここに私のエログロ時代の性病受難を時に說く所以があるのである

母國見學 高女生旅行記
第八信
大内俊子
江森ナツ

朝七時先生に起されて、やつさ目をさます昨日のつかれで正体もなく寢つてしまつてゐたが東京にゐるのださ思ふとやはり、さび起きたくなる洗面所に行く者トランクをひつくり返す者廣いお座敷も大混雜を呈したがさうやら仕末をして八時半には旅館を出る事が出來た

先づ淺草の觀音樣にお參りをする、堂の柱に、青辨慶が親指でおして明けたさ言ふ穴があいてゐたがさても大きなものだ朝少し早かつたせいか人もあまり出てゐなかつたがやはり堂が空になるさ言ふ事はないらしい

緣結びの神樣さか言ふ久米神社にもおまいりしたが誰かが「どうか良い緣が結べます樣に」さ大きな聲で言つたのには思はず噴出してしまつた

淺草にもいよいよおわかれをつげて被服廠跡に行く事になつたが自動車に乘つてゐるSさんが歸つて來ないさ言ふので大騷動をしたりしたが、まあ無事で見つける事が出來た

いよいよ被服廠跡に向ふ。隅田川を渡り、手島神社を過ぎてやつさ着いた十一年前のあの人々の苦しみや悲觀の有樣がそこにかゝつてゐる繪や銅像によつてひしひしさ身にしみて感じられた、二十萬人のお骨がおさめてあるさ言ふ所に最敬禮をして、こゝにもおわかれをつげた

昔四十七士が吉良の首をさげて渡つたさ言ふ永代橋をわたり大東京の幹線道路の昭和通を通つてゐる中に朝から曇だつた空からポツリポツリさ雨が降り出した

國家の爲に一身を捧げつくした兵士をおまつりしてある靖國神社に到着、近くは滿洲事變上海事變日淸日露の戰爭の時我が日本帝國の爲に、身を捧げて戰つてしかも戰死なすつた方々に心から感謝して靖國神社を出る

近衛四聯隊を過ぎ明治神宮についた雨がますます強くなつて困つたが明治大帝の遺德を偲ぶべく私達は御前にかしこまつた、國家非常時に、はるばる滿洲より來た私達の一心の祈りは必ずや御聞きさげ下さるでせう

私達は自動車によつて再び雨の中を乃木邸に向つて突進する乃木邸着

お邸を廻つてお室を拜觀するこれが陸軍大將伯爵乃木希典閣下のお住居であつたさは我々の想像もつかぬのである

應接室及び、お居間などは質素ながらきちんさりてゐて女性の纖細さなつてゐる靜子夫人の崇高な御人格がはつきりさうかがはれる

御自害なされたお室の、疊及びそのまゝにまるめて立てゝあるこざ、すべてが昔の有樣を、髣髴さ浮び出させる。正馬、厩馬さわけられた、御馬屋は、うわさにたがはぬ御立派な御馬屋である。壯嚴な乃木神社に詣うで鏈る廻らしてお庭を通る、乃木夫妻が御自身でお世話なされた、花壇及びさゝやかな畠は人の世のはかなさも知らずに芽ばへてゐる

當時血のりのついたものすべてをうづめてある乃木のえい血の地さしてある、石塚、詣でゝ間を出る。

中華民國大使館をすぎて左に大きな高輪郵便局を見る赤羽を通つていよいよ忠臣義士高輪の泉岳寺に到着、表口のすぐそばに、大石良雄の像がたつてゐる奥に行つて首洗ひの井戶、梅等を見る淺野長矩公の墓を參拜し今更ながら吉良上野介の食慾な姿が想像されて來る。

泉岳寺を出て十四萬六千坪あるさ言ふ芝公園の横を通る愛宕山に到着、寬永年間の馬術家馬垣平九郎が卽座にかけのぼつたこの石段馬をもつて見事に家光の面前で昇りきつたさ言ふ、あたごの、男坂段數はさほどでもないがその急な事おびただしい、七分目位でもう足がすくまない

放送局を見學して宮城に向ふ櫻田門を通り二重橋前で整列しつゝしんで皇居に向つて遙拜する廣場まで退りぞいて記念寫眞を撮る忠臣正成の銅像を右にみやり白木屋で晝食

ホームラン王助・ポン助 (十七)
ヤベトヨゾウ

1 アララ　ペンキヤサンガ　イルゾ　シゴトニムチユウニナツテルゾ。

2 ナニカ　ヒトツ　イタヅラヲ　シテヤロウカソウソウ　イイコトガ。

3 カキノ　ボールデ　カントバカリ　スピートツケテト……

4 アーアアア　バカニタイクツダナー　アクビバカリ　デテクル。

海の外から

△女中さん大喜び　リヨン市に在る、ユーナー、ハウスアパートでは、人間が近寄ると自動的にドーアが開く近代科學の電氣應用を各室に施してある。即ち化學光線を用ひ人間が現はれると其影が磁場に當り電波作用でコイル裝置を傳つてドーアの開閉器を自動的に開閉するもので、手がはぶけてさしあたり女中さんの大喜び。

□近代コンクリ工事の王　米國加州、ルーズヴエルト街に竣工せるアーチ型コンクリート橋は目下好奇米人の話題となつてゐるが、全長七百十四呎、アーチ部分の長さ三百四十二呎、高さ二百七十呎で近代的コンクリート工事の王さ稱せられてゐる

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	六九 一三二	氷鯛	四八 六四
チヌ鯛	四二 四六	連子	二五 五二
アマ鯛	六〇	小鯛	二六 五〇
マグロ	四〇 一〇〇	ブリ	二六 二九
ヒラス	五〇	シマダイ	一三
ヒラメ	二九 三二	ボラ	三〇
キス	三二	タコ	三三 三四
イヒダコ	二八 三三	甲イカ	五五 六〇
水イカ	三三	セエビ	八九 九〇
車エビ	五〇 五三〇	中エビ	三四
カニ	五一 五五	貝柱	一四
白魚	三三	アワビ	四二 六〇
ハマグリ	一二 一三	ムキミ	一三
シジミ	五八	カマボコ	一〇 一三
ケクワ	九	ドゼウ	一三
シビ	二九	タナゴ	二九
ホタテ貝	一〇	カジキ	九

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第五十七回

黒船の難題（三）

勤番所の役人たちは、乾典膳がいかなる約束で、フランス軍艦アレキサンテル號に乘組でゐるものか、もとより知る由もない。したがつて金ピカの士官なみの應對をなした。物頭佐々木宇太夫、目付富山忠明の兩名は、主として一行の應接役をつとめたが、彼等の要求に對しては、先年オロシアの使節に接したときのやうにきはめて簡單明瞭な返答だつた。

『遠來の趣き、御役目御勞苦に存ずる。御國のため賜命の御努力お推察申す。なれども、事甚だ重大なる問題にて、當勤番所一存にて計らひ兼ねまする。何卒これより蝦夷路松前領へおもむかれ、箱館奉行所と直接に談判あつて然るべしと存じまする速かに退帆あられたい』

目付富山忠明は、無表情に、むしろ無感興にかういつた。

『なるほど……いやその御諭告は當然の路順と存ずる。われらも、直接箱館奉行に交渉いたしたいが、何分にも事いやしくもわが東亞艦隊の機密に關する問題、さいぜんも申上げるとほり、衆人環視のあひだに、直接箱館奉行に交渉なすときは敵に……いやそのオロシア軍艦のものに感づかれるは必定、何卒格別の御便宜にてこの際默許ありたい』

ピコル少佐の意見もまたず、典膳は、獨斷にさらにかう突込んできた。

『いや、いかに委曲をつくされても、なほ勤番所一存の計らひにてこれを差許すことまかりなりませぬ。殊に默許などゝはもつての外の儀でござる』

『然らば交易の形式にて差許し下さるか』

『開港條約の地は、箱館表にござればその、儀も箱館にてなさるがよろしい』

『[illegible]ない、交易とまで申さぬ。草に時折の假泊を大目に見のがして下さらぬか』

『…………』

忠明は、隣席の佐々木宇太夫と眼で私語をかけした。

『その儀も遺憾ながら罷りませぬ。直に退帆あられい』

宇太夫の應對も、無表情・無感興だつた。

典膳も、交渉顛末を、隣席のピコル少佐へ傳へた。

兩人のあひだに何事か唐人語がかはされたが、すぐに典膳は、宇太夫たちの方を向き直り

『フランス東亞艦隊の假泊地として默許なき時は、他日、フランス艦隊とオロシャ艦隊とが、近海において交戰の曉、日本國は、あるひは意想外の不利に陷ることあるも計られぬ。と、使節殿が申されてをりまするぞ。これは、はなはだ含蓄のある一言にて、フランス軍艦が蝦夷地近海において、いかなる手段をもつて壓迫を加へるかわからぬ。その前提でござる。拙者も日本人の一人、御國の危難を憂ふるが故にかくお勸め申す次第にござる。快諾あるが上分別と存ずるが……』

ピコル少佐の意に、おのれの私見もつけ加へて、能辯にまくし立てるので、宇太夫はじめ忠明その他の役人も、いさゝか氣迷ひを生じた。そこで、宇太夫は答へた。

『事情判然いたしてござる。が、何分火急の御要求にて、今日直に返答はなり兼ねるによつて、明日改めて當方より確答仕るが、この儀如何でござるか』

『なるほど……』といつて、そのことを典膳はピコルに傳へたが、

『よろしい。では明日までお待ち申さう』

これで、會見は終つた。ピコル少佐一行は、直に沖の黒船へ歸つてしまつた。